

(190) 熱延材の連続—熱延直接圧延プロセスにおける管理システム技術の開発

新日鐵 堺製鐵所 中村洋一 林 伸光 末松和男

○椎野 博 甲斐公男

日鐵コンピューターシステム 清田和志

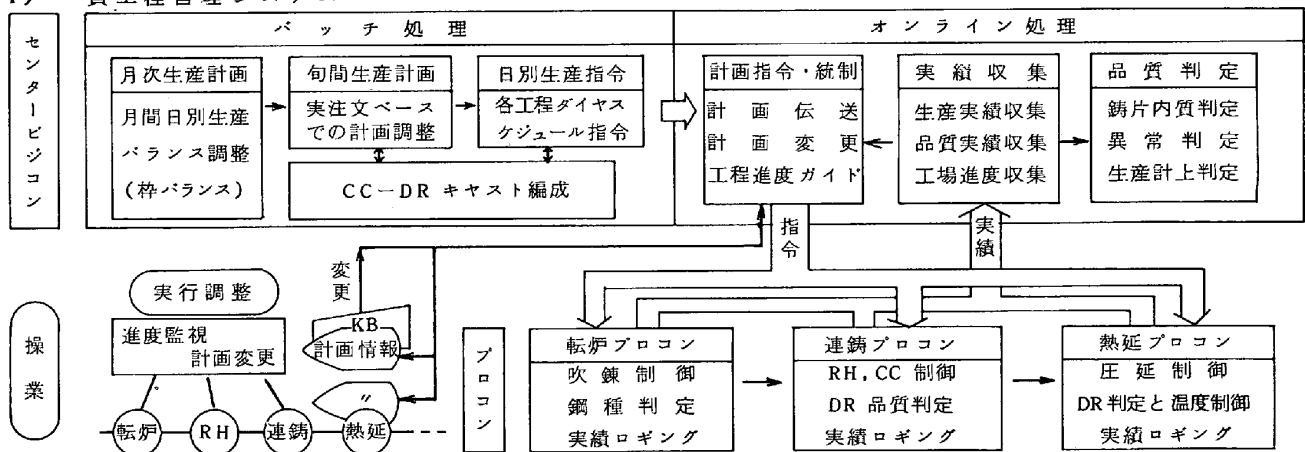
1. 緒 言

溶銑からホットコイルを巻取るまで、中間工程でのバッファーが全くないCC—DR物流工程において、TOTAL・COST・MINを担う効率的な生産を行うためには、一貫的な工程管理、品質管理が重要となる。従来はICがベースであったことから、このたびCC—DR総合システムを開発した。

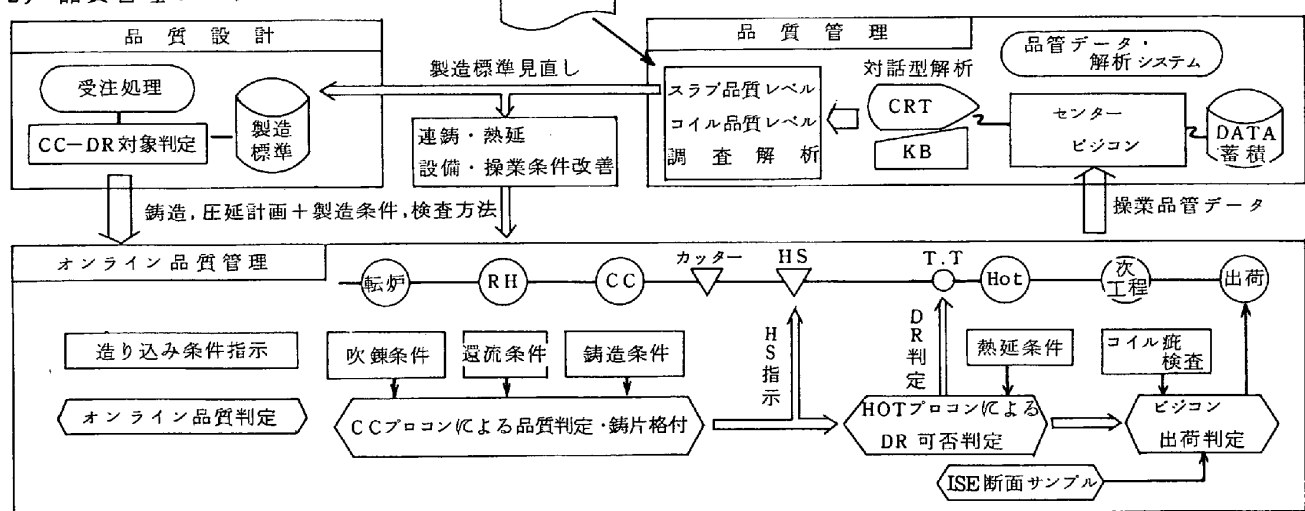
2. CC—DR管理システム

当システムの基本的な考え方、及び機能は次の2点である。①一貫生産スケジューリングと実行調整：転炉～圧延間の共通製造ロットを編成し、このロットをベースに最適一貫工程計画を作成するとともに、実行での変動に対して迅速な調整が可能な体制を確立すること。②CC—DR品質保証体制：適正水準を安定的に達成するため、品質設計～造り込み条件指示～品質判定～品質レベル解析フォローが迅速に行える体制を確立することにある。このため、ビジコン・プロコンの機能を効果的に結合し、総合システム化をはかった。以下に当システムの概要について図示する。

1) 一貫工程管理システム



2) 品質管理システム



3. 結 言：当システムの稼働により、CC—DRを可能とする体制は確立した。今後は新しい条件の発生や、管理精度向上に対して、更に改善をはかっていきたい。